



令和8年度 福島県の取り組み紹介

福島県では、「介護イメージアップ」「人材マッチング」「人材確保」「人材育成」「人材定着」の5本を柱として、それぞれに紐づく事業を総合的に展開することによって、福祉・介護人材の確保を目指しています。その中から、今回は【介護の有償ボランティアマッチング支援事業】と【ふくしま働きやすい介護の職場認証評価制度】の2つをご紹介します。

■介護の有償ボランティアマッチング支援事業

県は、介護福祉に特化したボランティアのマッチングサイトである「スケッター」を活用した、介護の有償ボランティアマッチング支援事業を開始しました。この事業を通じ、ボランティア活動の活性化を図るとともに、介護未経験の方を介護職に繋げるルート構築を図ってまいります。

令和8年度は、郡山市・白河市の介護事業所において有償ボランティアの普及を図り、効果を検証します。介護事業所が参加しやすくなるように、郡山市及び白河市に所在する介護事業所は、7月～12月の間、「スケッター」を無料で利用いただけますので、是非ご登録ください。すでに「スケッター」での事業所登録・ボランティア募集は始まり、7月1日からボランティア活動が開始されています。

スケッター公式サイト <https://www.sketter.jp/>



介護業界の大きな課題である深刻な人手不足の解決に向け、5月12日に福島県、郡山市、白河市及び「スケッター」を運営する株式会社プラスロボの4者により「介護事業所の人手不足解消に向けた連携協定」を締結しました。

★有償ボランティアとは★

介護・福祉やボランティアに関心のある方が、お手伝いの募集をしている介護事業所でレクリエーション、清掃、配膳、話し相手などのボランティアを行うものです。ボランティア参加者には、介護事業所から謝礼（交通費程度）が支払われます。

■ふくしま働きやすい介護の職場認証評価制度

本制度は、県が基準に基づく評価を行い、一定の水準を満たした事業所に認証を付与するもので、令和7年度から実施しています。

評価基準には、求職者が就職先を決める上で重視する「働きやすい環境整備」「キャリアパスと人材育成の取り組み」等の視点が網羅されています。認証事業者の取り組みを広く周知することで、求職者にとって就職先の選択における指標となるほか、介護職志望者の増加や介護業界のイメージアップにつながると考えています。また事業者が認証取得を目指すことにより、就労環境等の改善や人材育成体制の整備が進み、職員の定着促進やサービスの質の向上につながることが期待されます。なお令和7年度は、8法人が認証を受け、法人PR等に活用しています。

県は、今年度も「ふくしま働きやすい介護の職場認証評価制度」の認証を希望する法人を募集しています。募集対象となるのは、就労環境等の改善や人材の育成など、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる法人です。

8月31日まで法人からの「参加宣言」を受け付けています。宣言を行うことで、今後実施を予定している「評価項目別研修会」や「個別相談会」に参加することが可能となります。



●詳細は特設サイト(URL:<https://www.eidell.co.jp/fukushima-kaigo/>)にてご確認ください。

●制度に関するお問い合わせ等は事務局(福島県業務の受託者「株式会社エイデル研究所」)へ。

電話:0120-404-641、メール:fukushima-kaigo@eidell.co.jp

令和8年度介護労働講習(実務者研修を含む)スタート!



6月16日、パセナカ Misse (福島市)において介護労働講習の開講式を執り行いました。本講習は介護分野への就職を希望する雇用保険受給資格者の方を対象に、介護現場で必要となる実践的知識及び技能を105日間かけて習得してもらう職業講習です。「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律」に基づく指定法人である介護労働安定センターが、年1回、47都道府県で実施しています。

慢性的な人手不足の介護業界で、「自分も人の役に立てる仕事がしたい」など、熱い志をもって受講を決めた34名が講習をスタートしました。開講式にはハローワーク福島から矢内所長にご列席を賜り、熱いメッセージを頂戴しました。本講習は11月25日修了式の予定です。



開講式の様子(矢内所長ご挨拶)



※ここに掲載している写真・氏名等の個人情報は、予めご本人の承諾を得ています。



公益財団法人 介護労働安定センター福島支部
〒960-8041 福島市大町 7-23 朝日生命福島大町ビル 7 階
TEL:024-523-1871 FAX:024-523-1876



スタンダード認証



ハイレベル認証

さすけねえ新聞について

さすけねえ新聞は、東日本大震災の翌年、介護事業所様や施設で働く職員の皆様を「もっと応援したい」という思いで発刊した、福島支部独自の機関紙です。

※福島支部ホームページのお問合せフォームでさすけねえ新聞へのご意見ご要望をお聞かせください。

さすけねえ新聞 第58号の発行は
令和8年11月1日の予定です♪



介護労働安定センター福島支部



福島支部ホームページ



検索

介護のしごとの「魅力かるた」

「山梨支部」発信

■しごとの魅力を伝える・感じる、参加体験型の「かるた」

介護のしごとに対する世間のイメージは「きつそう」といったネガティブなものが多く、実際の仕事の魅力ややりがい、社会的意義についてまだまだ正しく理解されていない現状があります。

求職者の心に刺さる短いフレーズで伝えたい、「何それ？」まずは興味・関心を持ってもらうきっかけにしたいとの思いから、山梨支部で制作したのが、介護のしごとの「魅力かるた」です。

「かるた」というと、取った数を競い合うゲームを思い浮かべると思いますが、『魅力かるた』は違います。自分の共感できる・気になるフレーズのかるた（推し札）を選び出して、介護のしごとの魅力について、知ってもらう、感じてもらう、再発見してもらう、遊びながら学ぶツールです。刺さるフレーズは人それぞれ、自分が選んだ「かるた」をひっくり返して、裏に書かれた説明を読むことでさらに理解が深まることでしょ。



介護経験者も、未経験者も、
気になるフレーズがきっと見つかります！



～ 魅力かるたを使った取り組み ～

●ハローワーク職員向け研修会

まずはハローワーク職員の方に介護のしごとについて、またその魅力について正しく理解していただくこと、そのうえで求職者の方に効果的に伝えていただくことを目的に、「介護のしごとの勧め方_キャリアチェンジ(かるた演習付き)」として実施。

ハローワーク職員向け研修会の様子は、NHK からの取材があり、【介護職の人材確保へ 介護の魅力知って!】テレビ放映されました。（「かいドキ」「ニュース山梨 845」）



●働き方改革ワークショップ（かるた体験）「働く価値観とは」

山梨労働局雇用環境・均等室と連携して介護事業所の施設管理者を対象に実施。

「仕事のやりがいを言葉にできていますか、職員みんなで言葉にしてみませんか？」



その他にも、

- 新入介護職員研修として「介護のしごとの魅力とは_かるた体験」、
- 学生の職業意識形成支援として「職業講話_しごとの魅力とは（かるた体験）」、
- 介護職員のモチベーション向上・チームワーク向上のためのグループワークツールとして、
- 介護のしごとの魅力発信、ハロトレフェス等のイベントにおける「かるた体験」、などなど

「魅力かるた」を活用したアイデアがどんどん広がっているそうです。

今回は、山梨支部制作の介護のしごと「魅力かるた」をご紹介します。

※福島支部でも「魅力かるた」の水平展開について検討中です。みなさまのご要望やご意見を、ぜひ支部までお寄せください。



公益財団法人 介護労働安定センター 福島支部

〒960-8041 福島市大町 7-23 朝日生命福島大町ビル 7 階

TEL:024-523-1871 FAX:024-523-1876

